

議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 令和5年2月22日（水）午前11時0分
- 2 閉会日時 令和5年2月22日（水）午前11時30分
- 3 会議場所 熊山支所大会議室
- 4 出席委員
6番 佐藤 武君 8番 光成 良充君 11番 治徳 義明君
13番 金谷 文則君 14番 松田 勲君 15番 福木 京子君
17番 下山 哲司君
18番 実盛 祥五議長
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
な し
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 土井 常男君 副 参 事 野田 順子君
- 8 協議事項 1) 特別委員会の設置について

午前11時0分 開会

○委員長（治徳義明君） 皆様、お疲れさまです。

議会運営委員会を開催いたします。

先ほど、全協におきまして、特別委員会の設置が決定をされました。その際、議長のほうから議会運営委員会のほうへ詳細については一任してくださいということを受けて協議をさせていただきたいと思いますので、どうかよろしくお願いを申し上げます。

その前に、改めて議長のほうから一言お願いします。

○議長（実盛祥五君） 皆さん、お疲れのところ、ありがとうございます。

慎重審査をよろしくお願いたします。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

今、お手元にペーパーを1枚配付させていただいてるんですけども、詳細説明というのは、名称であるとか設置の目的、また委員の定数、そして設置のためのスケジュールなんかを議論していかなければいけない、協議していかなければいけないと思うんですけども、まずどなたかが御意見ありましたら。

はい、下山委員。

○委員（下山哲司君） 取りあえず、金谷委員長に所管だったんでまず口切りをお願いしたいと思うんですが、どんなでしょうか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 何も申し上げることはございませんので、スムーズに進行いただきたいと思います。よくいろんなことを理解した中でやっていただかないと意味がありませんので、それは十分心得ていただきたいと思います。

○委員長（治徳義明君） そういうことで、慎重に、特別委員会を設置するというのは物すごいことですので、協議していきたいと思います。

ここで、暫時休憩いたします。

午前11時1分 休憩

午前11時5分 再開

○委員長（治徳義明君） 再開いたします。

先ほどの全協におきまして特別委員会を設置という方向になりましたけども、このまちづくりというのは赤磐市にとりまして最重要課題であり、議員の皆様の見解また議員の皆さんは市民の皆さんからの意見などを踏まえてしっかりと議論をして、慎重なまちづくりのための特別委員会にしていきたいと思いますが、皆様それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

そして、先ほど申しましたように、名称であるとか目的、これは目的は非常に重要な、範囲を決める話なので重要でありますし、また設置のスケジュール等、委員の定数も含めて、何か御意見がありましたら。

下山委員。

○委員（下山哲司君） それは、もうこの前皆さんの全協で話をしたとおりで、全員の議員で討議をしながら、検討しながら、審査をしながらという方向で進めていく内容にしてほしいということなんで、そういう方向でお願いしたいと思います。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

今、下山委員のほうから、定数につきましては議長も含めて全18人ですということ、皆様、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） 皆様、異存ないですね。ありがとうございます。

そして、名称、目的については、どなたか意見がありましたら。

ないようでしたら、もし議長に案があれば示してください。

○議長（実盛祥五君） 皆さんの意見を聞いてください。それでよろしいよ。

○委員（下山哲司君） 皆さんのあれがなけりゃあ、僕は一言、よろしいか。

○委員長（治徳義明君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） まちづくり特別委員会でええと思うんです。

○委員長（治徳義明君） まちづくり特別委員会。

○委員（下山哲司君） 僕はそう思ってます。そうすれば、内容についてはいろんな方向で、その都度その都度案件のときに委員会が開けると。ということで、幅を持った委員会がいいんじゃないかというふうに私は思っております。

○委員（金谷文則君） ちょっと暫時休憩を。

○委員長（治徳義明君） 暫時休憩します。

午前11時7分 休憩

午前11時14分 再開

○委員長（治徳義明君） 再開いたします。

下山委員のほうから、名称についてはまちづくり特別委員会でいいんじゃないでしょうかというふうなお話がありまして、皆さん御同意いただきましたので、そういうふうにさせていただきますけれども、目的……。

○委員（佐藤 武君） いや、名称で。

○委員長（治徳義明君） はい、どうぞ。

○委員（佐藤 武君） 基本的には大丈夫かなと思うんですが、特別委員会を設置するに当たって、常任委員会との兼ね合いというか、いわゆる議案とか条例等が出て、所管の産建委員会

で今まで付託をして、採決をして、本会議へ上げていたというような状況を考えて、常任委員会の存在感というのは大事にしないといけない。そうした中で、特別委員会も採決する案件を付託することはできるんですけど、特別委員会に所管の案件を委ねるとなったら、委員会条例も改正しないといけないという部分があるんで、私の考えとしては、あくまでまちづくり、調査というのを入れたほうがいいかなというふうには思うんですが。まちづくり調査特別委員会というふうには私は思います。

○委員長（治徳義明君） ただいま佐藤委員のほうから調査を入れたほうがいいんじゃないかという指摘がありましたけど、まちづくり調査特別委員会という意味合いですね。

○委員（佐藤 武君） そうです。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 細かく本当に決めるんなら、先ほど私も言わなかったんだけど、佐藤委員がおっしゃられたように、所管の委員会というのが3つに分かれてるので、基本的に、そこがじゃあどういう権限を持つんかということを決めなきゃいけないので、これはもう後で言えばいいと思ったんで黙っとったんですけど、今、話がちょうど出たんで、だからまちづくりの基本で所管の産業建設常任委員会の所管するものについて、特別委員会だからってそれを議決するというようなことは相なりませんので、また今度想定されるまちづくりというものの中には産業建設常任委員会の所管もあるし、これからは厚生文教の所管も出てくる、総務の所管も出てくるということで、これは、今言うたように、協議をする場所で、大枠の方向を決めていく委員会であるべきだろうと思うんです。

それで、今度計画が出たら、それぞれ、先のことを言うてはいかんですけど、事業が多岐にわたるので、大きなまちづくりの中の一つ、例えば駐車場とかその辺のところは国の予算を受けて産建がやるけども、それに付随する、あと例えば競技施設があったり、それからバスターミナルみたいなもんがあったりすると、それはまた総務があったりって出てくるんで、それはそのときに振り分けて持って帰るような、皆さんの合意という全体の流れを、計画を進めていく委員会ということを、これは強くしていただきたいなというように思いますんで、これはもう附則、その目的のところちょっとそのようなところを入れていただいて、総称は少々どうでも、今言うたように、まちづくりでも準備でもそら構いませんけども、目的はそういうことだということをお願いできれば、何らほかに不足を言うことはございません。

以上でございます。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 今、金谷委員のほうから目的という部分があったんで、私もいろいろ考えておりました、要するに赤磐市全体の振興策というか、赤坂、吉井、熊山それから旧山陽

も含めて、その全体の振興整備計画というものを目的の中に入れるということと同時に、今最大の、私としては成し遂げていきたいという思いの新拠点整備、いわゆる都市計画の変更がスムーズに行くように、その部分についても、公共ゾーンとか福祉ゾーンとか道の駅であるとか、いろんなゾーンが今案として示されておりますので、いわゆるその公共ゾーンの部分で、いろんな市が絡んでくる部分というものを重点的に調査ができればいいのかなというふうには理解してるんですけども。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

そのほかに、今を受けて。

下山委員。

○委員（下山哲司君） それに関連して、僕いつも今までも言ようたんですけど、3常任委員長がおられて、予算常任委員長もおられて、今4人、それに議長、副議長がおられるんで、もう一人できたら今度は5人に、議長、副議長で7人になるんですが、そういうことに関して全体を、7人なら7人で、議長を中心に各委員長が相談をしてうまくやっていくというシステムをつくってほしいというのが僕はスムーズに行くんじゃないかなというふうに思うんですが、それについて御意見がいただけたら。

○委員長（治徳義明君） 今、下山委員のほうから、スムーズにいかすためにはそういったことをやっていく必要があるんじゃないかというふうな形、過去にもやっていたようなときもあるんで。

○委員（金谷文則君） ちょっと休憩してもらっていいですか。

○委員長（治徳義明君） 暫時休憩します。

午前11時20分 休憩

午前11時26分 再開

○委員長（治徳義明君） 再開いたします。

○議長（実盛祥五君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 実盛議長。

○議長（実盛祥五君） 今委員の皆さんからいいお話を聞きましたので、私も頑張ってやりますので、皆さんよろしく願いいたします。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

それで、先ほどから目的につきまして様々な御意見いただきました。その中には、旧4町のまちづくりについて、全体的な流れのしっかりした議論をやるべきだというのが1点と、それともう一点、今具体的に進めております新拠点整備の公共ゾーンについてしっかり議論を、協議をしていくべきだというふうな2つの御意見があったと思うんですけども、それを並列させていただきまして目的とさせていただいてもよろしいでしょうか。皆さん、それでよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長（治徳義明君） ありがとうございます。
- 委員（下山哲司君） 委員長。
- 委員長（治徳義明君） 下山委員。
- 委員（下山哲司君） 今の議事録をまとめていただいて、それを全協のほうに示すという方向でやっていただきたい。
- 委員長（治徳義明君） 分かりました。
- 委員（下山哲司君） 皆さんに諮ってよ。
- 委員長（治徳義明君） はい。
- 委員（佐藤 武君） 議運でみなさんに。
- 委員（松田 勲君） 全協に出す前に。
- 委員（下山哲司君） それは出す前に。
- 委員（金谷文則君） 出す前に一遍委員の皆さんに。
- 委員（松田 勲君） そのほうがええと思う。
- 委員長（治徳義明君） 分かりました。
- 委員（下山哲司君） 委員長。
- 委員長（治徳義明君） 下山委員。
- 委員（下山哲司君） 議会中なんで、いつでも議運は開いていただいたら結構なんで。
- 委員長（治徳義明君） 分かりました。
- 委員（下山哲司君） 前もっての、議会中は要りませんから、委員長の段取りができたらずぐ、時間を見て開いていただきゃあええんで。
- 委員長（治徳義明君） 分かりました。
- 委員（下山哲司君） 無理して7日の事前通告は必要ないと思うんで。
やっていただきたい。
- 委員長（治徳義明君） 分かりました。
松田委員。
- 委員（松田 勲君） タイトルは結局どうしたらいいんですか、タイトル。
名称。
- 委員長（治徳義明君） 名称はもう一遍確認します。もう一遍。ありがとうございます。
名称につきましては、まちづくりというのは皆共通した中で、特別委員会、調査を入れたほうがいいのではないですかと今、金谷委員の御意見なんかをお聞きしたら、全体の調査みたいなものを入れたほうが無難、無難と言っちゃあなんですけど、方向としては正しいのかなと思いますけど、まちづくり調査特別委員会というような形でよろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

目的につきましては、先ほど申し上げたとおりで、そして委員の定数につきましては、議長がどうかというような議論もありましたけど、最終的に全議員でやりましょうという話でよろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） それで、設置のためのスケジュールなんですけども、先ほど申しましたように、もう一遍出たら議運を開かせていただいて、全協でお示しをさせていただいて、スムーズにいけば最終日に特別委員会の上程するという形でよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） 皆さん、すいません。前向きな御意見をいただきましてありがとうございます。特別委員会、大事な案件でございますので、しっかり議論ができたんだと、議運のほうでもできたんだろうと思います。ありがとうございました。

これをもちまして議会運営委員会を……。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） こうやって皆さんでやれるということが決定したら、最終日でもあずけになっとる1,200万円を議長のほうから……。

○委員（金谷文則君） それは今言わんほうがええわ。

○委員（下山哲司君） やったほうがええんじゃねえかなと思う。

○委員（金谷文則君） それはちょっと違う。

○委員（下山哲司君） じゃけど、徐々にということで、ほんなら。そういうことで。

○委員長（治徳義明君） 分かりました。

○委員（下山哲司君） 徐々に。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございました。

これをもちまして議会運営委員会を終了いたします。ありがとうございました。

午前11時30分 閉会